

# まるいん通信



公益財団法人屋久島環境文化財団 TEL 42-2900

平成27年4月発行

## 屋久島 自然・文化体験セミナー募集のご案内

第1回自然・文化体験セミナー

### 『まるごと屋久島研修講座』

この春屋久島へ赴任された方等を対象に「屋久島のみどころ」を2回に分けて紹介します。

里編 4/19(日)  
9:00~16:30  
参加費:1,500円(昼食等)  
内容:島内一周、集落散策など  
定員:30名(先着順)  
申込締切:4月14日(火)



第2回自然・文化体験セミナー

### 屋久島感動めぐり～新緑の屋久島旅～

新緑鮮やかな森の中を歩いて山頂を目指すモッチョム岳トレッキングや、新緑のスキの香りをういたアロマスプレー作りなどを通して、初夏の屋久島の自然を楽しんでみませんか。



開催日:5月3日(日)～5月5日(火)  
対象:高校生以上  
参加費:20,000円  
定員:20名(先着順)  
申込締切:4月19日(日)  
※詳しくは研修センター(46-2900)まで。



森編 4/25(土)  
9:00~16:30  
参加費:1,000円(昼食等)  
内容:自然観察  
定員:20名(先着順)  
申込締切:4月17日(金)

※詳しくは研修センター(46-2900)まで。

## 屋久島環境文化村センターのご案内

開館時間 9:00～17:00 (展示ホールへの入場は16:30まで)  
休館日 毎月第3火曜日(但し火曜日が祝日の場合は翌日)  
年末及び元旦(12月28日～1月1日)  
メンテナンス休館(2月15日～末日)

※ゴールデンウィーク期間、7月～10月は休まず開館します

観覧料 展示ホール及び大型映像については観覧料が必要です。



区分	個人	団体(20名以上)
大人	520円	420円
高校生・大学生	360円	290円
小学生・中学生	260円	210円
幼児(6歳未満)	無料	

### ★★★展示ホール★★★

屋久島の自然や文化に関する総合的な情報を展示物でわかりやすくご紹介しています。

### ☆☆☆大型映像ホール☆☆☆

迫力ある映像により、屋久島の自然をダイナミックに紹介します。

休館日 村センター 4/21(火)午後(※午前は臨時開館します。) 5/19(火)  
研修センター 4/6(月)、13(月)、20(月)、27(月) 5/11(月)、18(月)



～インストラクター便り～ 『花の色のひみつ』 インストラクター 山口翔太

春も本番になり道端には様々な花が咲いている様子が見られるようになりました。黄色、オレンジ色、紫色、白色と、様々な色の花が咲きほこりわたしたちの目を楽しませてくれています。しかし、花はなぜこのように鮮やかな色をつけるのでしょうか。

植物が子孫を残すためには花粉を運ぶ必要があります。しかし、植物は自分で動くことが出来ません。そのため、花粉を運ぶために多くの植物が昆虫を利用しています。様々な手段で昆虫をおびき寄せ、花粉を運んでもらっているのです。その手段の一つが花の色です。花を目立つ色にすることによって自分の花粉をより優先的に運んでもらおうとしているのです。花の色が一色ではなく様々な色があるのは、昆虫によって色の見え方が異なり、好む色も異なるためと言われています。

このように、鮮やかな花の色は昆虫をおびき寄せるためにあみ出された植物の戦略の一つだったのです。植物にとっては自分達の生き残すべとして進化してきた花の色ですが、結果として人をこれほどまでに楽しませてくれているのです。自然の美しさの背景にはまだまだたくさんこのような生き物たちの生き残りの戦略が隠れているのかもしれません。  
<参考文献> 昆虫と花ー共生と共進化ー(1997) フリードリッヒ.G.バルト八坂書房



## 財 団 活 動 報 告

### 「植物の名前を覚えよう」

2月28日に自然・文化体験セミナー「植物の名前を覚えよう」を開催しました。スライドによる植物に関するレクチャーや研修センター周辺の森の観察、押し葉標本作り体験などの活動を行いました。参加者からは「木の名前を覚えられそうな気がします」、「とても勉強になりました」などの感想をいただきました。



### 「ちょっと道草。おいしい植物勉強会」3月1日開催

いつもは気にも留めない「雑草」ですがちょっと勉強してみると、中にはおいしい植物がたくさん！午前中は野草を摘みながらの道草さんぽ、そしてお昼からはそれを使っておかずとおやつ作りをしました。参加者の方からは次のお散歩が宝探しに変わりそう！との声もあり楽しんでいただけたようです。ご参加ありがとうございました。



### 「のんびりゆったり里のエコツアー ～中間集落～」

3月21日・22日の2日間、中間集落でサトウキビ刈りから黒糖精製までの体験を行いました。黒糖精製では、参加者の皆様と工場の方々が協力し、汗を流しながら、和気藹々とした雰囲気でした。中間区長の川崎太一さんは「これが中間集落の結い(人と人との繋がり合いです。）」とおっしゃっていました。思い出たっぷりの黒糖を作ることができ、参加者の皆様も大変満足していただけたようです。



## 編 集 後 記

4月に入り宮之浦川の桜も満開をむかえ、屋久島も春の陽気が漂っています。この春、屋久島環境文化財団では、鹿児島県職員1名、屋久島町職員2名、プロパー職員1名、インストラクター1名を新規職員として出迎えました。連載しておりました「屋久島を想う」については、来月号より新規職員を中心に随意掲載してまいります。